

京阪沿線魅力再発見2023

所蔵:国土交通省 淀川河川事務所

ぶらり街道めぐり

題字:矢野貴翔

～食の路編～

京阪沿線の街道に沿った食の歴史や文化にふれ、
まちの奥深さを楽しみながら京阪沿線を
ぶらり巡ってみませんか。

有斐斎弘道館 × 京阪ホールディングス × 大阪府立国際会議場

特別講座 三十石船でたどる京街道

京都と大阪を結ぶ落語と講座、対談を開催いたします。
食を通して、京街道の歴史、文化に触れてみませんか。

2023年6月24日(土) 14:00～16:00 (13:30開場)

会場:大阪府立国際会議場 12階特別会議場

アクセス:京阪電車 中之島駅下車 2番出口すぐ

定員:200名 | 参加費:無料

出演:桂 吉坊氏 太田 宗達氏

内容:落語「三十石夢乃通路」桂 吉坊
講座／太田 宗達
対談／桂 吉坊×太田 宗達



桂 吉坊氏
(落語家)

1981年兵庫県生まれ。1999年、桂吉朝に入門。2000年より3年間、桂米朝のもとで内弟子修行。以後、古典落語を中心に舞台を重ねる。2007年には「地獄八景 浮世百景」で役者としてもデビュー。2023年、大阪文化祭賞奨励賞を受賞。有斐斎弘道館では、毎年2回和蝋燭のもとで語る「吉坊ゆらり咄」を開催。

事前申込
6月12日(月)
まで

特別講座のお申し込み

[keihan.co.jp]/[movabletype.net]/ドメインのメールが必ず受信できるよう設定をお願いします。

※応募多数の場合は抽選になります。1度に2名まで申込可能。当選の方のみ、開催前約1週間を目途にメールを送信いたします。

右記二次元バーコードにアクセスしていただき
必要事項をご記入の上、ご応募ください。

<https://www.okeihan.net/burari/navi/form/>
(おけいはん.nett)



有斐斎弘道館

有斐斎 弘道館
YUUISAI KODOUKAN

有斐斎弘道館(ゆうひさいこうどうかん)は、江戸時代を代表する儒者、皆川淇園(みながわきえん/1734～1807)の学問所「弘道館」址に建つ文化的建造物を保存しつつ、江戸時代の教養文化を楽しみながら考え、広めていくための活動を行っています。



大阪府立国際会議場

グランキューブ大阪
Osaka International Convention Center

水都大阪の中心地「中之島」に立地し、国際会議をはじめコンサート・展示会等多目的にご利用いただける施設として、国籍を問わず多くの人に親しんでいただけるよう、様々な交流の場と使い易さに重点をおいた質の高いサービスを提供しております。館内には、大阪府所蔵のアート作品24点を展示しております。



お問い合わせ 京阪ホールディングス「ぶらり街道めぐり」係 TEL.06-6944-2542(平日9時30分～12時、13時～17時)

主催:京阪ホールディングス(株)、(公財)有斐斎弘道館、(株)大阪国際会議場 後援:(公社)京都市観光協会、歴史街道推進協議会

講座 信仰からみる京都・京街道編 ～食が支えた街道の歴史～

歴史信仰を紐解けば、その土地の歴史と食文化にたどり着きます。現在も関西の重要な「道」となっている京街道、京阪沿線を取りあげます。「京都一大阪」の歴史の大動脈を食が支えていたことをご存知でしょうか。食を通して京街道の歴史文化を掘り起こす講座です。各回、テーマに合わせた限定の主菓子をお持ち帰りいただけます。

2023年5月13日(土) 11:00～12:30 京街道～京・大坂をつなぐ道

秀吉の時代から、淀川左岸は、京・大坂を結ぶ主要な街道として発達を遂げました。大坂への下りは舟、京・伏見への上りは徒歩や馬が主流です。神武天皇東征の、大和の長髓彦(ながすねひこ)との最初のコンタクトの場であり、聖なる山 生駒を望む淀川左岸は、古代遺跡の宝庫です。現在の京阪電車の車窓からの景色をお楽しみいただけるよう、ご一緒に考察してみましよう。

2023年7月22日(土) 11:00～12:30 伏見稲荷駅

京阪電車の沿線には、日本でお宮の数が一番多いと言われている稲荷神社の総本宮である伏見稲荷大社があります。古代の「お山」信仰の時代から、現在の稲荷山 山麓に落ち着いた足利時代までを見ていきましょう。都市型信仰の典型でもある稲荷信仰がなぜ生まれたかについて考えます。



提供:伏見稲荷大社

2023年8月26日(土) 11:00～12:30 石清水八幡宮駅

日本の原風景ともいえる鎮守の森と、放生池のある「八幡さま」。藤原氏全盛の時代に、九州の宇佐から、紀氏系の人々によって勧請されました。八幡神には、神仏習合の様相が見て取れます。また、社僧であった松花堂昭乗の江戸時代寛永文化の貢献についても取り上げます。



2023年9月23日(土・祝) 11:00～12:30 枚方市駅

京・大坂の間の、最大の宿場町である枚方。平安初期に天皇の離宮であった渚院などがあり、桓武天皇が鷹狩りを楽しんだ場所でもあります。この地域は、京阪電車の車窓から見える万年寺山を中心に、不思議な歴史を歩んできました。枚方周辺の豪農たちは当時の学問の推進者になっていきます。また、昭和・平成の時代には、枚方公園での菊人形が記憶に残ります。多様な視点から枚方の街を考えます。

【場所】有斐斎弘道館 京都市上京区上長者町通新町東入元土御門町524-1

【アクセス】京阪電車 三条駅乗換、京都市営地下鉄 今出川駅下車 徒歩約12分 | 定員:30名

【参加費】各回3,000円/アーカイブ視聴 各回2,000円
(菓子付き) (講座終了後配信)

講師

太田 宗達氏



京都市生まれ。立命館大学学マネジメント学部 特別招聘教授。有職菓子御調進所 老松当主。有斐斎弘道館代表理事。歴史、信仰、食文化を研究する一方、国内外で茶会を数多く開く。NHK『ようこそ先輩』、『美の壺』など多数出演。

松枝 しげ美氏



京都市生まれ。京都産業大学日本文化研究所 上席特別客員研究員。文化財を自分の足で巡りながら調査をし、歴史と文化を研究する。『茶道雑誌』(河原書店)にて連載。

お問い合わせ TEL.075-441-6662 [E-mail] info@kodo-kan.com [HP] https://kodo-kan.com/

歴史講座
申し込みはコチラ▶



〈展覧会〉



京都学・歴彩館の業務内容や、所蔵資料の特徴を紹介する展覧会です。

【会期】4月15日(土)～6月11日(日) ※4/29、5/3～5、5/10は休館
【平日】9:00～18:00 【土日】9:00～17:00

【会場】京都府立京都学・歴彩館 1階展示室
京都市左京区下鴨半木町1-29
(出町柳駅下車 京都市バス(4号系統)で北山駅前下車)



出展資料:新阪阪P-2形車両図面(京都府行政文書より)